

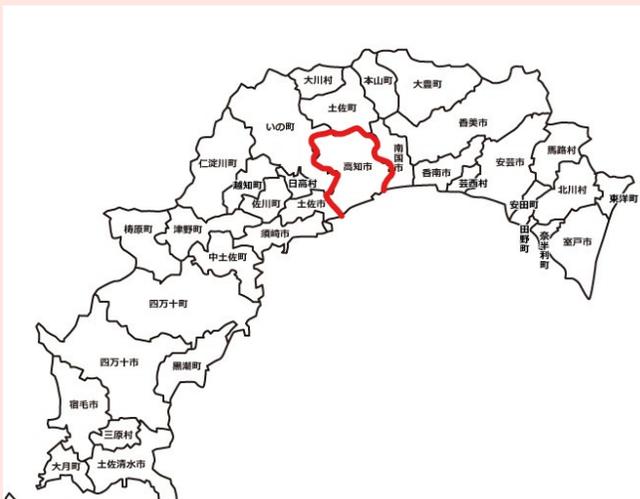
高知市

高知市における精神障害者にも対応した 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組み

高知市では、「誰もが地域で当たり前暮らしのできる高知市」を目指して、入院中の精神障害者の地域移行を促進し通院治療が可能だが入院を継続している精神障害者をなくすことを目標にして、平成27年から地域移行支援の取組をはじめました。これらをきっかけとして、保健・医療・福祉が連携し、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築を目指します。

1 県、指定都市、中核市、特別区の基礎情報

高知市



取組内容

1. 保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置
2. ピアサポートの活用に係る事業
3. 精神障害者の地域移行・地域定着関係職員に対する研修に係る事業
4. 入院中の精神障害者の地域生活支援に係る事業

基本情報（自治体情報）

障害保健福祉圏域数 (R5年7月時点)	1	か所	
市町村数 (R5年7月時点)	1	市町村	
人口 (R5年7月時点)	317,599	人	
精神科病院の数 (R4年12月時点)	12	病院	
精神科病床数 (R4年12月時点)	1,540	床	
入院精神障害者数 (R3年6月時点)	合計	930 人	
	3か月未満 (%:構成割合)	215 人 23.1 %	
	3か月以上1年未満 (%:構成割合)	150 人 16.1 %	
	1年以上 (%:構成割合)	565 人 60.8 %	
	うち65歳未満	137 人	
	うち65歳以上	428 人	
退院率 (R●年●月時点)	入院後3か月時点	— %	
	入院後6か月時点	— %	
	入院後1年時点	— %	
相談支援事業所数 (R5年8月時点)	基幹相談支援センター数	1 か所	
	一般相談支援事業所数	9 か所	
	特定相談支援事業所数	41 か所	
保健所数 (R5年7月時点)	1	か所	
(自立支援)協議会の開催頻度 (R4年度)	(自立支援)協議会の開催頻度	4 回/年	
	精神領域に関する議論を行う部会の有無	無	
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況 (R5年7月時点)	都道府県	無	か所
	障害保健福祉圏域	無	/ か所/障害圏域数
	市町村	有 1 / 1	か所/市町村数

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

高知市では、平成27年度から「精神障害者の退院に向けた支援」の取組を開始し、平成29年度から高知市精神障害者地域移行促進事業を開始している。

1. 保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置
 - ・精神障害者地域移行代表者会議：保健, 医療, 福祉等の代表者と地域移行支援の取組の課題・目標を共有する。
 - ・精神障害者地域移行戦略会議：保健, 医療, 福祉等の実務者により, 地域移行対象の具体事例について協議し, 地域移行の仕組み全体の課題解決に向けて検討する。
2. ピアサポートの活用に係る事業
 - ・地域移行支援を促進するために, 共に取組んでいけるピアサポーターを養成
 - ・定例会を開催し, フォローアップを行う
 - ・関係機関への活動報告等を実施
 - ・一般相談支援事業所と高知市ピアサポーターが地域移行支援の活動を一緒に行う。
3. 精神障害者の地域移行・地域定着関係職員に対する研修に係る事業
 - ・精神障害者地域移行支援者会議(地域いこうかい): 地域移行支援の周知や理解を深めることを目的として, 当事者や家族, 保健, 医療, 福祉関係者らと研修等を行う。
4. 入院中の精神障害者の地域生活支援に係る事業
 - ・院内説明会(ぼちぼち会): 入院患者を対象として, 相談支援事業所職員, ピアサポーターによる退院意欲喚起プログラムを行う。

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
精神障害者地域移行支援者会議 (地域いこうかい)	→							
ピアサポーターの 養成・育成		養成研修 ①	養成研修 ②	→		養成研修 ③	高知市ピア サポーター 35名登録	相談支援事業 所と地域移行 支援の活動を 一緒に行う
院内説明会 (ぼちぼち会)				→				
				※R3～4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のため開催できていない				
精神障害者地域 移行促進事業 (委託事業)			→					
			H29.7月～H31.3月 相談事業所に地域移行支援を事業委託					
精神障害者地域 移行代表者会議	→							
精神障害者地域 移行戦略会議 (実務者)	→							

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜令和4年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (R4年度当初)	実績値 (R4年度末)	具体的な成果・効果
①高知市精神障害者地域移行代表者会議, 高知市精神障害者地域移行戦略会議 (実務者) 開催数	8回	8回	<ul style="list-style-type: none"> ・保健, 医療, 福祉機関の管理者に地域移行支援の取組や目標, 課題を共有してもらうことができた。 ・実務者の会には, 高齢者の支援機関や庁内の関係部署にも参加してもらい, 支援の具体的な検討や福祉サービスの周知を行うことができた。
②ピアサポーター定例会 開催数	8回	8回	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポーターそれぞれのリカバリーストーリーの作成や発表, 面接技術について共に学び, ピアサポートのスキルアップにつながっている。
③院内説明会(ぼちぼち会) 開催数	2回	0回	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響の為, 開催できなかった。
④精神障害者地域移行者支援者会議 (地域いこうかい) 開催数	2回	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行支援, 地域定着支援を利用している事例について, 他機関, 多職種で検討し, 課題解決に向けた取組ができた。 ・地域移行支援, 地域定着支援について, 多機関の職員に周知することができた。

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴(強み)】

平成27年度より入院中の精神障害者の地域生活移行を促進しており、保健・医療・福祉関係者のネットワークは確立できている。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
ピアサポーターの雇用の増加	<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行支援を促進するための普及啓発への積極的な参加 ・高知県精神障害者ピアサポーター研修会への参加 ・具体的な個別支援を協働して行う仕組みづくり 	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポーター活用促進 ・地域移行支援事業の積極的な普及啓発
		医療	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポーターの活用
		福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポーターの雇用への理解 ・ピアサポーターの活用
		その他関係機関・住民等	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポーターの活用
地域移行支援の個別給付数の増加	<ul style="list-style-type: none"> ・長期入院者に地域移行支援を知ってもらい、利用してもらうために、医療機関で院内説明会を開催する 	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の利用促進に向けた仕組みづくり
		医療	<ul style="list-style-type: none"> ・院内説明会の対象者検討, 開催
		福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・院内説明会のプログラム実施
		その他関係機関・住民等	—

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (令和5年度末)	見込んでいる成果・効果
①ピアサポーターの雇用者数	1人	2人	地域移行支援がより効果的に行えるようになる
②地域移行支援の個別給付件数	0件	25件	地域で自分らしく暮らせる精神障害者が増える
③			

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための連携状況

【にも包括構築の体制】

入院中の精神障害者の地域移行支援を中心に、ピアサポートの活用や地域移行支援に関する研修についても、保健・医療・福祉の関係機関が集まり、協議を行いながら「にも包括構築」を進めている。

所管部署名	所管部署における主な業務
高知市保健所健康増進課	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉担当 ・協議の場を運営

連携部署名	連携部署における主な業務
障がい福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービスの支給決定 ・個別支援等

各部門の連携状況		強み・課題等
保健	<ul style="list-style-type: none"> ・措置入院の退院後支援事業の実施 ・精神障害者やその家族等に関する支援を関係機関と連携して実施 	措置入院者の退院後支援や地域移行支援を実施することで、保健、医療、福祉の仕組みはできたが、課題解決を入院に頼らない仕組みが必要であり、アウトリーチ支援事業を進めることが次の目標である。
医療	<ul style="list-style-type: none"> ・措置入院者の退院後支援に協力 ・協議の場への参加や院内説明会の協力 	協議の場へ参加をしてくれており、地域移行支援対象者等の共有ができている。市内全ての精神科医療機関との連携は十分にとれていないため、協議の場への参加ができていない医療機関への働きかけを行っていく。
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉管理課では、生活保護受給者の退院後支援等を実施。協議の場への参加 ・基幹型地域包括支援センターでは、高齢者に関する支援を実施。協議の場への参加 	協議の場へ参加をしてくれており、地域移行支援対象者等の共有ができている。生活保護受給者の退院後支援対象者と地域移行支援事業対象者との連携が不十分であるため、協議の場での検討をさらに行っていく。高齢者の地域移行支援終了後、介護保険サービスへの移行がうまくできないケースがあるため、ケース検討の場を設ける等、さらに連携していく。
その他関係機関・住民等		

7 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項等(課題・強み等)
精神障害者地域移行代表者会議	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関(代表者) ・県(障害保健代表者) ・市(障害福祉代表者) ・障害福祉事業所(管理者) ・高知市家族会(代表者) 	1回/年	目標や課題の共有を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行支援の取組における課題や目標を各機関の代表者に共有してもらうことで、働きかけがしやすくなる
精神障害者地域移行戦略会議	<ul style="list-style-type: none"> ・病院職員 ・一般相談支援事業所職員 ・市(障がい福祉課)職員 ・ピアサポーター ・保健所健康増進課職員 	8回/年	地域移行・地域定着の対象者の検討や支援状況を確認し、目標、課題を共有し、検討を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ケースの検討を通じて、地域課題の把握や整理、それぞれの支援技術の向上に繋がっている

【その他事項】 ※協議の場運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載ください

8 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた今年度の取組スケジュール

	R5 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6 1月	2月	3月	
精神障害者地域移行代表者会議					・地域移行支援に関する目標や課題を共有する								
精神障害者地域移行戦略会議 (実務者)													
ピアサポーター定例会													
こころのサポーター養成事業							・精神疾患、精神障害者についての正しい知識と理解を市民向けに啓発する						
院内説明会 (ぼちぼち会)									・病院で退院意欲喚起プログラムを実施する				
精神障害者地域移行支援者会議 (地域いこうかい)	・年に2回開催 ・ピアサポーターの役割の理解、地域移行支援の必要性について周知啓発を行う												